

## Q HPVワクチン接種の積極的勧奨にむけて

いずもびんたろう  
出雲敏太郎 議員



## A 正しい情報を広く周知していききたい

**問** HPVワクチン（子宮頸がんワクチン）のリスクとベネフィットの周知は。

**答** 対象者に情報提供の通知や、メリット・デメリットが分かりやすく掲載されている厚生労働省が作成するリーフレットの配布などを行ってきた。

**問** 今後のスケジュールは。

**答** 8年以上、接種の積極的勧奨について差し控えが行われて

きたが、通常の定期接種に戻ることとなった。令和4年4月からの再開に向けて、対象者への個別通知や医療機関への周知などの準備を今年度中に進める。

**問** 男性のワクチン接種は、女性の子宮頸がんのリスクを低下させるほか、男性自身の中咽頭がんなどを防ぐといったメリットがある。広く一般に周知を。

**答** 男性の接種は任意接種とな



HPV・・・子宮頸がんを始め、多くの病気の発生に関わっている、ヒトパピローマウイルス (Human papillomavirus) の略称のこと。

## Q 自治体DXの推進について

もちだ やすあき  
持田 靖明 議員



## A 国の計画と市の取組を進めている

るが、女性への積極的勧奨再開と併せて広く周知したい。

**問** ワクチン接種により、重篤な副反応に苦しむ方もいる。この点についても周知を。

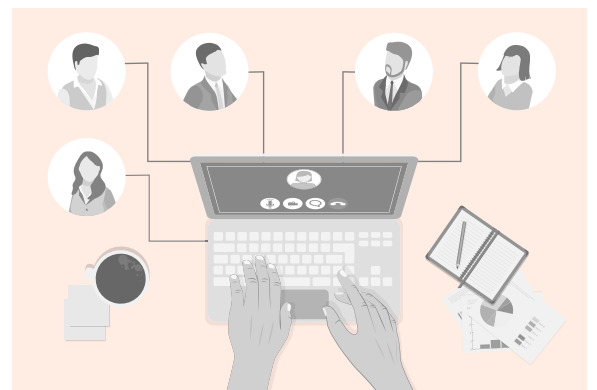
**答** HPVワクチンに限らず、予防接種には有効性とリスクが必ずある。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害が発生する可能性があることは事実なので、正しい情報を丁寧に説明していきたい。

**問** これまでの取組について。

**答** 本市では、国が進める自治体DX推進計画への対応と本市が独自で進めているDXへの取組がある。本市独自で進めている統合型内部情報系システムの導入は、AIやRPAの活用も検討した結果、職員からの業務改善要望の内、多くの課題に対して有効であることから、導入を結論付けた。

**問** 目指す姿について。

**答** 行政サービスにおける利便性及び業務効率化による市民サービスの向上を目標とし、変革やイノベーションを意識しながら、人口減少下でいかに自治体のサービスの質を低下させず維



持していくかといった2040構想におけるスマート自治体の構築を見据え進めていく。また、システム導入による業務フローの見直しや行政運営の効率化や行政改革などを進めることで、職員意識の変革へとつながることが重要である。

**問** 今後の予定について。

**答** 国の自治体DX推進計画は、7年度中の完了を見込んでいる。本市独自で進めている統合型内部情報系システムの導入は、国が計画を出す前から取り組んできたことで、5年4月からの本格導入を予定している。